

知事臨時記者会見

- 日時 令和2年3月14日（土）17:30～17:40
- 会場 応接室

【発表事項】

本日、福島県衛生研究所が行った新型コロナウイルス検査の結果、陽性となった患者が確認されました。新型コロナウイルス感染症の本県での発生は2例目となります。

患者ですが、70代の女性で、郡山市に居住されています。これまでの経過ですが、この方は2月21日（金）から3月1日（日）にかけて、エジプトを旅行されています。帰国後、3月2日（月）の午後、郡山市の自宅に帰宅後、下痢の症状が現れ、以後、3月4日（水）まで続いておりました。その後、3月6日（金）から、咳の症状が現れ、咳止め薬を服用しておられます。3月9日（月）には、37.7度の発熱があり、市販の解熱剤を服用していましたが、3月12日（木）まで、35度から37度の間で推移していました。昨日、3月13日（金）に、咳、食欲不振が続くため、帰国者・接触者相談センターである郡山市保健所に相談され、帰国者・接触者相談外来を受診されました。本日、3月14日（土）に、県衛生研究所での検査の結果、陽性であることが判明いたしました。現在、感染症指定医療機関に入院中であり、症状は軽いとのことです。

行動歴については、2月21日（金）から3月1日（日）まで、エジプトにツアー旅行をしておられます。その中で、2月24日（月）から2月27日（木）まで、ナイル川のクルーズ船に乗船していたとのことであります。

3月4日（水）から3月6日（金）、3月9日（月）は、徒歩で職場の郡山女子大学へ通勤しており、マスクは着用していました。3月10日（火）には、近所の大型店舗で30分程度買い物をしており、この時もマスクは着用していました。

3月2日（月）から3月13日（金）までの詳細な行動及び濃厚接触者については、郡山市保健所において、現在調査中です。

県民の皆さんへのメッセージです。全国的に新型コロナウイルス感染症の患者数が、日々増加しており、本県でも2例目となる患者が発生しました。現在、県では、郡山市保健所を始め関係機関と連携しながら、感染経路の把握や濃厚接触者の確認など疫学調査を進めています。

県民の皆様には、正確な情報に基づいて、冷静に行動していただくようお願いいたします。これまでと同様、咳エチケットや手洗いの励行を始めとした感染症予防を徹底するとともに、発熱等の風邪の症状が見られる場合には、外出を自粛するほか、換気が悪く、不特定多数の人が密に集まって過ごすような場所は出来るだけ避けるなど、感染症にかかるない、感染症を移さない工夫をお願いします。

風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている方、強いだるさや息苦しさがある方、また、海外から帰国された方で、発熱などの症状のある方は最寄りの保健所の帰国者・接触者相談センターに御相談ください。

県では、今後とも検査体制の強化や医療提供体制の確保に取り組んでまいります。また、学校の臨時休業により影響を受けている児童生徒はもとより、保護者の皆さんへの支援、大規模イベントの自粛をはじめ、人や物の動きが停滞し、影響を受けている事業者や従業員の方への支援など、全庁を挙げて対策に取り組んでまいります。

引き続き、国や市町村、様々な関係機関と連携し、県民の皆様の安全を最優先に考えた対策を、迅速かつ的確に進めてまいりますので、県民の皆様の御協力を是非よろしくお願いします。

報道機関の皆様にお願いします。県では、相談体制を拡充し、県民の不安に応える体制を強化するほか、正確で迅速な情報発信に努めてまいります。県民の皆さんへの正確な情報提供に御協力をよろしくお願いします。また、感染者や家族・周辺の方のプライバシーにも、是非配慮をお願いします。

【質問事項】

【記者】

2点伺います。1点目は、このエジプトツアーについてですが、他の都道府県でも、このエジプトのツアーで陽性の患者さんが出ていますが、それと同様のツアーという理解でよろしいでしょうか。

2点目は、この女性が帰国した際の帰りのルートと交通機関はどのようなもので帰ってこられたのでしょうか。

【知事】

1点目ですが、今回のツアーは、エジプトのルクソール・アスワンを観光されたと聞いています。2点目については、帰国後に成田空港から電車・新幹線を利用して帰宅されています。移動中はマスクを着用されていました。詳細は現在、郡山市の保健所で調査中です。

【記者】

感染経路については、今調査をしているということですが、前回、いわき市の方は、クルーズ船で感染経路が判明しました。今回の女性は、いわゆる市中感染の可能性があるのかについて、知事はどのようにお考えですか。

【知事】

現在調査中ですので、明確に申し上げる段階にはありません。また、後ほど事務方からブリーフィングをさせていただきますが、出来る範囲でお答えします。

【記者】

2点伺います。1点目は、この方の勤務先が郡山女子大学となっていますが、どういった勤務をされて、学生に接する仕事なのかについて教えていただきたい。2点目は、県内2例目ということで、聖火リレーが迫っていますが、いわき市の事例に比べると、感染拡大の恐れが強そうな事例であると思えますが、聖火リレーについてどのように考えていますか。

【知事】

1点目ですか、今回の患者の職業は学校職員です。また、業務については、管理職で、学生などとの接触は少ない立場の方です。

聖火リレーについては、組織委員会において、基本的な考え方が示されています。今回、福島県で2例目の発生が確認されたことを踏まえ、組織委員会、関係機関と丁寧に協議を進めてまいります。

【記者】

この女性は、そのツアーに1人で行かれたのか、また、郡山市で居住されている家族はどのような感じですか。

【知事】

現在調査中ですが、このツアーは10名弱が同行されていると聞いています。同行者については、ツアーアゲントと同行者の居住先の保健所と連絡をとり、健康観察を行っていくことになろうかと思います。

また、御家族の関係ですが、独居、一人暮らしであり、家族等の接触者については、現在、郡山市保健所が調査中です。

【記者】

この説明資料の中で、エジプト訪問の際に、2月24日から27日まで「クルーズ船を利用」

と書かれていますが、この意図を伺いたい。もう一つは、女性が徒歩で大学まで出勤していたということですが、閉鎖的な空間ではなく密集しているような状況ではないと思いますが、この辺りの部分の考え方について伺います。

【知事】

まず1点目、エジプト訪問ツアー旅行の中で、ナイル川のクルーズ船について言及しています。明確な因果関係が判明している状況ではありませんが、現在、国内でこのような旅行が感染の一つの事例になっているということについても考慮しています。

また、徒歩での通勤について、後ほど事務方のブリーフィングの中でお答えさせていただきます。

【記者】

帰国後の6日と9日に出勤されているということですが、この6日と9日の2日間は、具体的にどのような仕事をされていたのか伺います。

【知事】

まず、この方は管理職で学生等との接触が少ない立場の方と聞いています。その他につきましては、後ほどブリーフィングの中でお答えできる範囲で回答させていただきます。

(終了)